



学校だより

6月号 第404号

教育目標：自分が好き 友だちが好き まちが好き 進んで学ぶ 山田の子
<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamata/>

「や・ま・た」の合言葉

校長 金森 孝子

「おはよう」「こんにちは」「まっけたよ」「あいたかったよ」この言葉が、何度交わされたことでしょうか。分散登校が始まり、学校全体に活気が戻ってきました。やはり、子どもたちがいてこそこの学校です。はじめて経験する半日の時間割、雨の日の校舎外での健康観察など、いろいろな展開があったにも関わらず、午前組、午後組ともに、落ち着いて3時間を過ごすことができました。再開初日を無事終えることができ、教職員一同、ホッとしているところです。今回、学校だより6月号では、6月1日(月)の学校の様子をお伝えします。

山田小学校の合言葉①

3つの力をのぼそう！

やさしさ

まなびにむかうところ

たくましさ

久しぶりの集団登校で、子どもたちは少し緊張気味でしたが、班長を中心に、一年生の歩調に合わせて、ゆっくりゆっくり正門までの坂道を上ってきました。傘をさしながら重い荷物をもって登校する子どもたちの頑張り、低学年の友達を気遣う仕草や姿は、一人一人の2か月の成長を十分に感じさせてくれるものでした。

山田小学校の合言葉②

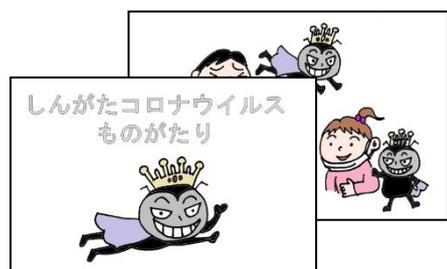
やくそくを

みんなで**ま**もって

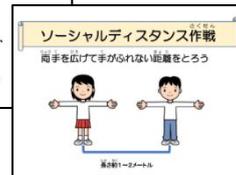
たのしいがっこう

コロナウイルスに

うちかとう！



「**や**くそくを みんなで**ま**もって **た**のしいがっこう」これは、6月1日2時間目のテレビ放送で、私が子どもたちに伝えた言葉です。集団の中での感染回避と、教育活動を両立させるためには、子どもたちの心のケアをすることはもちろん、登校初日にどうしても伝えておかなければならないことが数多くありました。そこで、子どもたちが興味関心をもって、内容が理解できるように、紙芝居やプレゼンテーションソフトなどを用いて、一斉にテレビ放送で、子どもたち全体に投げかけをすることにしました。養護教諭から、紙芝居「新型コロナウイルス物語」とプレゼンテーションソフトを用いた「コロナウイルスに負けない作戦」の話、児童支援専任からは、紙芝居「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」～負のスパイラルを断ち切るために～の話をしました。少し、難しい内容がありながらも、視聴している子どもの表情から、子どもなりに理解を深めているようすが見てとれました。また、臨時休校中についてのアンケートも実施しました。



1時間目と3時間目は、各学級での活動です。「学校再開スタートプログラム」をもとに、プログラム「心が落ち着く呼吸」を実施後教科学習に取り組んだり、プログラム「パチパチリレー」でクラスのコミュニケーションを楽しんだあと臨時休校中の課題の確認や作業をしたりと、学年に応じた活動を行いました。3時間の学習時間はあっという間に過ぎ、初日の教育活動は終わりました。

「第一期」分散登校の2週間のあとは、「第二期」一斉登校の午前授業となります。「だれもが安心して豊かに」学校生活を送れるよう、しばらくの間、「学校再開プログラム」を活用し、子どもたちの様子の観察、思いの傾聴、家庭やカウンセラーとの連携などに取り組んでまいります。引き続き、健康観察票の記入など、ご協力をよろしくお願いいたします。

